

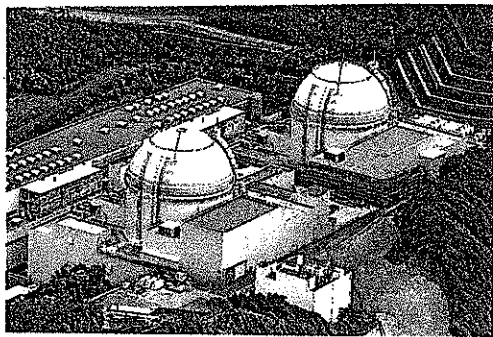
10/22 朝日

関電原発「稼働ゼロ」に

来月収益押し下げも

関西電力の原発が来月、1基も動かない「稼働ゼロ」になる。亀裂や損傷が見つかった検査が長引いたり、テロ対策施設の完成が期限に間に合わなかったりしているためだ。ゼロの期間は1カ月半ほどが見込まれ、業績への影響は避けられない。老朽原発の再稼働問題などもあり、関電の原発事業はさらに厳しい運営を迫られそうだ。

関電は福井県内に3原発計11基（4基は廃炉決定）を持つ。このうち大飯3、4号機と高浜3、4号機を稼働させてきたが、それぞれに問題が生じ、11月3日に大飯4号機が定期検査に入ると、すべての原発が停止すると、すべての原発が停止



関電大飯原発3号機（左）と4号機。2017年5月、福井県おおい町、加藤政隆撮影

■ 関電の原子力発電所の現状

| 運転状況 | 再稼働 予定時期 | 出力 (万kw) | 運転 年数 |
|------------------------------------|-------------|-------------|----------|
| 美浜 老朽原発。安全対策工事を 3号機 終えて使用前検査中 | 21年1月 | 82.6 | 43 |
| 高浜 老朽原発。安全対策工事を 1号機 終えて使用前検査中 | 21年3月 | 82.6 | 45 |
| 高浜2号機 老朽原発。安全対策工事中 | 21年5月 | 82.6 | 44 |
| 高浜 定期検査中。テロ対策施設 3号機 の完成後に運転再開予定 | 20年12月 | 87 | 35 |
| 高浜 定期検査中。テロ対策施設 4号機 の完成後に運転再開予定 | 21年1月 | 87 | 35 |
| 大飯 定期検査中。配管の取り換 3号機 え工事後に運転再開予定 | 未定 | 118 | 28 |
| 大飯 運転中。11月から定期検査 4号機 予定 | 21年1月 | 118 | 27 |

止ることになった。高浜3号機は定期検査中に蒸気発生器の伝熱管2本に損傷が見つかり、検査を延長。新規基準で設備が義務づけられているテロ対策施設の完成期限の8月までに再び動かす予定だったが、工事も遅れて、運転再開は12月22日にずれ込んだ。高浜4号機もテロ対策施設が期限に間に合わなかった。12月中に完成する見通しで、運転再開は来年1月25日の予定だ。

今年9月下旬に再稼働予定だった大飯3号機も、配管の溶接部に長さ67センチ、深さ4.6センチの亀裂が判明。関電は国への報告は必要ないとの認識だが、「安全性を理解いただけるよう説明を尽くす」と広報とし、原子力規制委員会の認可を経て

運転を再開する方針を示してきた。調査を進めてきたが、配管を交換することになり、定期検査が数カ月程度長引くことになった。こうしたなかで11月3日に大飯4号機の定期検査が始まる。高浜3号機が12月下旬に予定通りに動かない限り、稼働ゼロの状態が続く見通しだ。

関電の原発がすべて停止するのは2017年6月以降、約3年半ぶり。前回は作業トラブルによる緊急停止や運転差し止めの仮処分などを受け、約1年2カ月にわたって動かなかった。関電が今年9月下旬に公表した21年3月期の業績予想は、コロナ禍による需要減少などで、売上高が前年比6.4%減の2兆9800億円、純利益は同30.8

減の900億円と4年ぶりの減収減益を見込む。原発停止によっても押し下げられる可能性が出てきた。関電によると、原発を火力発電などで代替すれば燃料代が増える。直近の原油価格相場による試算では、大飯3、4号機の停止で1カ月にそれぞれ35億円、そのほかの原発で25億円のコスト増につながるという。関電は現状での業績への影響の見通しを明らかにしていない。

関電の原発事業は足元に課題を抱える。美浜3号機や高浜1号機は国内で初めて40年を超えて運転させる計画で、9月中旬に安全対策工事を終えた。先行する美浜3号機は来年1月の再稼働を見込む。また、使用済み核燃料の中間貯蔵施設

の候補地について、福井県外を選んで「年内をめど」に示すとしてきた。だが、いずれも地元同意が必要で、金品受領や役員報酬補填の問題で失った信

頼を回復することが前提となっている。稼働ゼロの後に再び動かすための条件は様々で、関電の対応は難しいものとなりそうだ。

（橋本拓樹、栗林孝子）